

本年度の重点	1	授業改善を図り、生徒の基礎学力の確実な定着と学習意欲を向上を図る
目標（評価規準）		学力の向上と学習に取り組む意識・意欲の向上を生徒・教員ともに実感できる。
重点に係る現状 設定理由		学習に対する意欲、基礎的学力に課題がある。また、家庭学習の習慣が身につけていない傾向も見られる。学校研究の主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業で、生徒が互いに学び合う中で、わかる・できる・楽しい等を実感でき、学習意欲の向上を高められるよう教員の授業改善に努め、家庭と連携しながら生徒の学びの構えを意識させ、家庭学習の習慣化にも努めたい。

評価資料	評 価
	各アンケート項目に対して、AまたはBと回答した率を【肯定的】、CまたはDと回答した率を【否定的】と表記する。
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	<p>①研究授業を通じた授業力の向上や言語活動の充実による主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくりを図る。          &lt;教員&gt;【肯定的】96%→生徒の【肯定的】94%と概ね一致している。</p> <p>②一人ひとりの生徒に対する学習面の支援の充実に努める。          &lt;教員&gt;【肯定的】93%→生徒の【肯定的】93%と概ね一致している。</p> <p>③授業以外でも帰学習や学習会を行い、基礎基本の定着を図る。          &lt;教員&gt;【肯定的】100%→生徒の【肯定的】95%と概ね一致している。</p> <p>④家庭学習の大切さを生徒に伝え、取り組めるよう指導する。          &lt;教員&gt;【肯定的】93%→生徒の【肯定的】72%と差異が見られる。(ここ数年同様の傾向)</p>
各アンケート等の結果	<p>①授業の研究を工夫して授業をしている。(授業を工夫して学力を育もうとしている)          &lt;生徒&gt;【肯定的】94%・【否定的】6%          &lt;保護者&gt;【肯定的】92%・【否定的】8% [除判断できない32%]          *生徒・保護者ともに高い評価をしている。(保護者の判断できないが、新型コロナウイルス感染症により授業参観等を行えなかったので大幅に増えた)</p> <p>②TT授業で生徒一人ひとりに丁寧に指導している。          &lt;生徒&gt;【肯定的】93%・【否定的】7%          &lt;保護者&gt;【肯定的】88%・【否定的】12% [除判断できない28%]          *生徒・保護者とも高く評価をしている。(判断できないはほぼ昨年と同様である)</p> <p>③授業以外でも帰学習や学習会を行い基礎基本の定着を図ろうとしている。          &lt;生徒&gt;【肯定的】95%・【否定的】5%          &lt;保護者&gt;【肯定的】88%・【否定的】12% [除判断できない22%]          *生徒にとって定着した取り組みとなっており、保護者にも取り組みが理解されてきている。</p> <p>④家庭学習は大切であると考え取り組むようしている。(家庭学習の大切さを教え指導している)          &lt;生徒&gt;【肯定的】72%・【否定的】28%          &lt;保護者&gt;【肯定的】85%・【否定的】15% [除判断できない6%]          *生徒【肯定的】は昨年とほぼ同様な傾向にあるが、保護者【肯定的】はここ数年大きな変化がみられない。今後も保護者に対しての働きかけや、学校からの情報は発信等により理解されるような工夫していく必要がある。</p>
自己評価結果 (見解と改善方策)	<p>・①～④各項目とも、教員が高い意識を持って、毎日の教育活動実施が生徒にも確実に理解され浸透している結果が、ここ数年の生徒の高い肯定的な評価につながっていると考える。</p> <p>・保護者の判断できないという回答については、新型コロナウイルス感染症により授業参観等を行えなかったこともあり増加した。来年度は多くの機会を通して周知していきたい。</p> <p>&lt;対策・改善&gt;</p> <p>・学習面でのアンケート結果では、教員・生徒・保護者間での評価差がなくなっており、ここ数年どの項目も肯定的評価率が高くなっている。しかし、学校での取り組みが、十分家庭に理解されていない面もあり、取り組み及び成果が保護者に確実に伝わるような手立ての必要がある。</p> <p>・家庭学習の習慣化を図るための自主学習ノートの活用や基礎基本の定着に向けての取り組みは継続しているが、学年により多少の差異がある。家庭学習の大切さは教員・生徒・保護者ともに十分理解しているので今後も根気強く指導を進める必要がある。</p> <p>・学習活動への取り組みの安定が、校内での安心・安全な生活につながっている。その点を全教員が再認識して、学習指導と生活指導を連携した取り組みの推進を図る。また、さらに充実した学習環境を提供し、学力の向上につなげていく。</p>
学校関係者評価結果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況及び緊急事態宣言の発令にともない開催を中止
最終改善方策	<p>・学力向上に向けた校内研究(授業研究)やTT授業及び学習会の実施など、一人ひとりを大切にしたい取り組みを今後も継続して行うとともに、その成果を多くの機会を通して保護者に向けて情報発信をしていく。</p> <p>・一人ひとりを大切にしたい授業実践を行うとともに基礎基本の定着を目指し、授業研究や授業改善を進める。また、令和3年度に完全実施される新学習指導要領に基づいた授業実践を行う。</p> <p>・毎年の課題となっている家庭学習の大切さについて、今一度、教職員・保護者・生徒が共通理解をし、現在行っている自学ノート(自主学習ノート)等への取り組みの習慣化を進め、基礎基本の定着へとつなげていく。</p>

本年度の重点に対する評価

本年度の重点	2	基本的な生活習慣の定着を図り、落ち着いて充実した学校生活をつくる
目標（評価規準）	学校内に自分の居場所があり、仲間と協力して落ち着いた日常生活を送ることができる。	
重点に係る現状 設定理由	学区内3小学校出身の生徒が互いを認め合いながら安心して安全に生活できる学校をめざしたい。特にいじめ防止に努めると共に暴力・いじめは許さないと毅然と丁寧な指導を心がける。また、規律ある生活習慣や場に応じた言動が不適切な面も見られるため、教師と生徒の信頼関係を高めながら社会性を育てつつ、一人ひとりに居場所があり行事や部活動等に充実した学級・学校生活を送らせたい。	

評価資料	評 価
	各アンケート項目に対して、AまたはBと回答した率を【肯定的】、CまたはDと回答した率を【否定的】と表記する。
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	<p>①基本的な生活習慣の定着と向上への指導                      &lt;教員&gt;【肯定的】89%→生徒の【肯定的】95%と概ね一致している。</p> <p>②公私を踏まえ、TPOに合わせた言葉・態度・行動への指導                      &lt;教員&gt;【肯定的】96%→生徒の【肯定的】93%と概ね一致している。</p> <p>③生徒理解に努め、生徒との信頼関係を築く。                      &lt;教員&gt;【肯定的】100%→生徒の【肯定的】79%と差異があった。(ほぼ昨年と同様)</p> <p>④自己肯定感や達成感を育て更に高い価値観(理想)を追い求める生徒を育てる。                      &lt;教員&gt;【肯定的】100%→生徒の【肯定的】90%と概ね一致している。</p>
各アンケート等の結果	<p>①規律ある生活習慣を身につけるよう心がけている。(身につけさせるよう指導に努めている)                      &lt;生徒&gt;【肯定的】95%・【否定的】5%                      &lt;保護者&gt;【肯定的】93%・【否定的】7% [除判断できない11%]                      *生徒・保護者の肯定的評価が多少あがった。集団での生活には不可欠なことであるので、今後も指導を継続し、生徒・保護者への更なる浸透を図っていききたい。</p> <p>②場に応じた言葉づかいや態度・行動を心がけている。                      (言葉づかい・態度・行動の指導に努めている)                      &lt;生徒&gt;【肯定的】93%・【否定的】7%                      &lt;保護者&gt;【肯定的】90%・【否定的】10% [除判断できない14%]                      *生徒・保護者の評価はほぼ差異がなく概ね一致している。</p> <p>③気軽に話したり相談できる先生がいる。(生徒を理解し信頼関係を築こうと努力している)                      &lt;生徒&gt;【肯定的】79%・【否定的】21%                      &lt;保護者&gt;【肯定的】87%・【否定的】13% [除判断できない15%]                      *ここ数年同じような傾向にあり、教員の高い評価に比べ、生徒・保護者の評価は他の項目に比べ高くない。今後も工夫して信頼関係の構築に努めてく必要がある。</p> <p>④学校生活で目標をもって取り組んだり頑張ったものがある。(達成感を味わえる指導をしている)                      &lt;生徒&gt;【肯定的】90%・【否定的】10%                      &lt;保護者&gt;【肯定的】93%・【否定的】7% [除判断できない11%]                      *新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限された中ではあるが、例年どおり、教員・生徒・保護者とも肯定的な評価の割合が高い。今後も継続して指導を進める。</p>
自己評価結果 (見解と改善方策)	<p>・①～④の各項目も、教員の意識が高く、日常的に丁寧な指導を心がけている成果として、ここ数年生徒の評価も高く推移している。</p> <p>・項目③の「気軽に話したり相談できる先生がいる(信頼関係を築こうと努力している)」の項目については、昨年より多少【肯定的】が高くなったが、生徒・保護者とも他の項目に比べて高くない。</p> <p>・項目④の「目標を持ち、達成感を味わう(味わえる指導をしている)」の項目については、生徒・保護者とも【肯定的】が例年どおり高く、新型コロナウイルス感染症による影響で多くの行事が縮小・中止される中ではあったが、限られた活動の中で生徒なりに大きな充実感・達成感を感じていたと考えられる。</p> <p>&lt;対策・改善&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も学習指導・生活指導・特別活動との連携をさらに進め、安心・安全・安定した教育活動を推進していく。</li> <li>・生活指導面では、全ての教員の共通理解のもとで統一した指導を展開し、保護者との連携を密に行うとともに、協力・理解のもとで生徒の健全育成につなげていく。</li> <li>・生徒との時間を有効に活用するため、業務を精選及び効率化し、教員の多忙化解消に向けた改善も進めていく。</li> </ul>
学校関係者評価結果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況及び緊急事態宣言の発令にともない開催を中止
最終改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き、生徒指導だけでなく、学習指導・特別活動・生徒会活動等との連携をさらに進め、安心・安全・安定した教育活動を進める。</li> <li>・生徒指導面では、保護者の方と学校が共通理解を図りながら、丁寧な指導を行っていく。また、教員個々の特性や個性を活かして生徒との信頼関係の構築を図り、生徒一人ひとりが充実した学校生活を送れるようにしたい。</li> <li>・不登校生徒については、今後も保護者と学校が連絡を密にして状況を把握するとともに、生徒・保護者の困り感を共有し、教育相談コーディネーターを中心として丁寧な支援体制の中で関係諸機関とも連携しながら対応する。</li> </ul>

## 本年度の重点に対する評価

本年度の重点	3	保護者・地域に信頼され開かれた学校づくりを進める
目標（評価規準）	本校の教育活動が保護者・地域に理解され、有効な意見反映や確実な協力が得られる。	
重点に係る現状 設定理由	学校の教育活動を積極的に公開し、情報発信に努めるとともに授業参観・教育懇談会・各種行事等への参加機会を多く設定し学校と保護者・地域との相互理解を深め、連携・協力をしながら学校づくりを進める。また、教員・生徒が地域の中でボランティア活動に参加しながら地域の中で自分の存在感を認識できる機会も設定していく。	

評価資料	評価
教職員アンケート結果 (具体的方策ごと)	<p>各アンケート項目に対して、AまたはBと回答した率を【肯定的】、CまたはDと回答した率を【否定的】と表記する。</p> <p>①積極的に保護者との交流を進め、保護者の学校理解・生徒の共通理解を図るように努める。          &lt;教員&gt;新型コロナウイルス感染症の影響により評価せず          &lt;生徒&gt;【肯定的】85%(昨年とほぼ同様)</p> <p>②情報発信に努め保護者の学校理解を図るように努める。          &lt;教員&gt;【肯定的】96% →&lt;生徒&gt;の【肯定的】88% (昨年より生徒の評価が少し高くなった)</p> <p>③福祉・ボランティア活動等、集団及び社会の一員としての自覚を高めるように努める。          &lt;教員&gt;&lt;生徒&gt;新型コロナウイルス感染症の影響により評価せず</p> <p>④三崎中の生徒は安心して学校生活を過ごしている。          &lt;教員&gt;【肯定的】100%→&lt;生徒&gt;の【肯定的】89%と概ね一致している。</p>
各アンケート等の結果	<p>①地域の方や来校者に積極的に挨拶している。(積極的に学校公開に取り組んでいる)          &lt;生徒&gt;【肯定的】85%・【否定的】15%          &lt;保護者&gt;新型コロナウイルス感染症の影響により評価せず          *生徒の評価は昨年とほぼ同様であった。</p> <p>②学校・学年・学級の様子がわかりやすく、ためになる。          (情報発信に努めていて学校の様子がわかりやすい)          &lt;生徒&gt;【肯定的】88%・【否定的】12%          &lt;保護者&gt;【肯定的】90%・【否定的】10% [除判断できない9%]          *ここ数年ほぼ同様な評価となっている。マチコミメール・学校だより等による情報発信を多くしたことにより学校の様子が一定程度伝わっていると考えられる。</p> <p>③社会の一員としての自覚、社会や地域に役立っていると感じている。          (地域行事によく取り組んでいる)          &lt;生徒&gt;&lt;保護者&gt;新型コロナウイルス感染症の影響により評価せず</p> <p>④本校の生徒は安心して学校生活を送れている。          &lt;生徒&gt;【肯定的】89%・【否定的】11%          &lt;保護者&gt;【肯定的】93%・【否定的】7% [除判断できない6%]          *安心・安全な学校生活は本校の教育活動における大前提であり、学校の取り組みが浸透・理解されていると感じている。今後もさらなる信頼を得られるように継続して取り組んでいく。</p>
自己評価結果 (見解と改善方策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況により、重点3の評価項目については、いくつかを評価対象から外した。</li> <li>・本校のめざす「開かれた学校」という面では、ここ数年保護者の評価が高く、地域の学校として定着して来ていると感じているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により十分な活動ができなかった。</li> </ul> <p>&lt;対策・改善&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが「開かれた地域の学校」をさらに進めていくために、生徒だけでなく、教員も地域行事に参加するなど、積極的に地域交流を図っていきたい。</li> <li>・今後も学校だより・マチコミメール等を等して、積極的に情報公開に努める。</li> <li>・学校・家庭・地域の三者で、生徒の健全な成長を見守れるよう、さらに工夫し活動を進めていく。</li> </ul>
学校関係者評価結果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況及び緊急事態宣言の発令にともない開催を中止
最終改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、来年度は可能な限り、学校公開、授業参観・保護者会、PTA活動に保護者・地域の方が来校できる機会を設定する。</li> <li>・学校通信、学年通信、マチコミメール等、今後も内容を工夫するとともに積極的に情報発信に努め、学校・家庭・地域との相互理解を深め連携していく。特にマチコミメールの活用を積極的に進める。</li> <li>・今年度は、取り組むことができなかったが、ボランティア活動は、今後も学校として意識をさらに高め、社会や地域の一員としての自覚を高められるように、生徒会活動等を通して積極的に活動していきたい。</li> </ul>